

日本海沿岸東北自動車道の整備促進について

北 信 越 部 会 提 出

日本海沿岸東北自動車道は、日本海側を縦貫し、国土軸を形成する重要な路線であり、広域交流の促進など地域活性化を図る重要な路線であります。

現在、新潟・山形県境区間の「朝日温海道路」では、本線盛土・切土工事や橋梁、トンネル工事等が着々と進められ、全線開通に向けて大きく前進しているところであります。

しかし、令和4年8月3日から的大雨により、朝日温海道路区間において現在の道路網を担っている国道7号及び国道345号が冠水等で通行止めとなり、並行しているJR羽越本線も不通となるなど、迂回路もなく日本海側の物流と人流が一時完全に遮断される事態が発生しました。

高速道路は豪雨・豪雪や越波等による道路ネットワークの寸断を回避し、救命救急医療や災害時の支援物資の輸送に重要な役割を担う「命の道」でもあります。未開通区間である朝日温海道路の一刻も早い全線開通に向けて、事業の一層の加速が望まれます。

また、既供用部の暫定2車線区間については、交通事故等による通行止めや補修工事などによる交通規制が頻発する路線であり、交通リダンダンシーを高めるためにも日本海東北自動車道の4車線化は「日本海国土軸の生命線」として重要課題と位置付けられるものであります。

このことから、コロナ禍からの回復に向けた地域経済の復興等を進めるとともに、安定した国民生活を維持継続するための強靱な国土を形成し、地方創生を一層加速させるため、下記のとおり強く要望します。

記

- 1 事業区間である新潟・山形県境の「朝日温海道路（朝日まほろばIC—あつみ温泉IC）」については、公共事業予算の増額を図り、道路関係予算総額を長期的かつ安定的に確保した上、重点的に予算を投入し早急に完成するよう建設促進を図ること。
- 2 「高速道路における安全・安心基本計画」において、4車線化すべき優先整備区間として選定された「豊栄スマートIC—荒川胎内IC」間については、事故防止や時間信頼性確保等の観点から4車線化について早期に事業着手すること。